

第4 地域創生

第4 地域創生

地域創生部は、市町村と連携して過疎地域や特色ある地域づくりを支援するとともに、「ぐんま暮らし」のブランド化による移住促進や、県外に在住しながらも継続的に県内地域との関わりを持つ関係人口の創出を図るための各種施策を行った。また、芸術文化・スポーツの振興により、魅力と活力のある地域づくりを推進するための各種施策を行った。

令和5年度は、新・総合計画（基本計画）のビジョン実現に向けて、次の重点施策に積極的に取り組んだ。

【令和5年度の重点施策及び主な取組】

1 県民総活躍社会の実現

(1) 多文化共生・共創

- ・外国人県民のコミュニケーション支援
- ・外国人県民が安心して暮らせる環境を創るための生活支援
- ・ぐんまを創る「仲間」である外国人県民とともに新たな価値を創造していくことを推進

(2) 移住者や関係人口を構成する人々の活躍

- ・ぐんま暮らしのブランド化による移住促進・関係人口創出

2 官民共創コミュニティの育成

(1) 地域課題解決

- ・住民主体の地域活動（地域運営組織、地域づくり団体等）の促進
- ・地域おこし協力隊の起業・継業や特定地域づくり事業協同組合の設立を支援

(2) スポーツによる地域創生

- ・県内のプロスポーツチームの魅力発信や活動サポート、プロスポーツを核としたスポーツの成長産業化
- ・アウトドアスポーツを活用した交流人口増大
- ・本県スポーツ選手の活躍により、県民の感動・誇りを醸成

(3) 文化による地域創生

- ・新しい文化価値の創造
- ・アートを活用した地域振興
- ・文化財や歴史文化遺産の保存・活用

1 地域創生費

(1) 総務調整費

決算額 10,746 千円

部内予算の適正、効率的な執行を図るため、部内共通経費や年度途中で機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

区 分	内 容	金 額
主管課運営費	部内共通経費等	1,408 千円
部局調整費	県立5館におけるキャッシュレス決済手数料、ぐんま推しナンバープレート公用車装着等	9,101
指定管理	指定管理者評価委員会	237

(2) 社会参加費

決算額 91 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴いて県政に反映し、また、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等の支出を行った（執行所属数：2課5所）。

(3) 文化スポーツ施設等特別維持整備費

決算額 35,636 千円

地域創生部所管の県有施設で緊急に必要な補修工事等に機動的、弾力的に対応した。

修繕費	工事費	備品費	合 計
21,837 千円	13,085 千円	714 千円	35,636 千円

(4) 地域政策推進

決算額 5,293 千円

① 地域づくりネットワーク推進

県内約110の地域づくり団体と県・市町村で構成する「群馬県地域づくり協議会」の運営を通じて、研修会や講演会の開催、優良団体の表彰、情報誌の発行等を行い、構成団体の取組の活性化と構成団体同士の連携の強化を図った。

② 群馬県版図柄入りナンバープレートの導入

令和5年10月からぐんまちゃんデザインの群馬県版図柄入りナンバープレートの交付開始。動画やSNS等を活用し広く県民への普及促進を図った。

(5) 地域調整費

振興局等において地域の政策課題に機動的かつ柔軟に対応するため、地域調整費を活用し、地域の振興及び活性化を図った。

① 地域振興調整費（地域振興事業）

決算額 47,514 千円

振興局長のマネジメントにより地域の振興及び活性化、地域の課題解決、将来に向けた芽出しのための事業に機動的、弾力的に対応したほか、県政への住民参加等の各種事業を実施した。

・主な活用事例

事業名	事業概要	事業費
さかいひまわりフェスタ in 伊与久 (中部振興局)	若手農業者が中心となり栽培したひまわり畑を活用し、フォトコンテスト、農産物等の直売、子供用のイベントを実施した。	350 千円
榛東村・吉岡町合同企画イベント (北群馬渋川振興局)	幅広い観光素材の PR が可能な榛東村と吉岡町がマルシェイベントを合同開催し、効果的な誘客促進及び魅力発信を行った。	498
高崎駅前大型スクリーンによる西上州観光動画放映 (高崎安中振興局)	高崎・藤岡・富岡行政県税事務所の連携により西上州観光 PR 映像を「G 7 群馬高崎デジタル・技術大臣会合」開催周知と合わせ、放映した。	149
林業振興及び地域産材利用推進イベント事業 (多野藤岡振興局)	林業振興及び地域産材の PR のため、林業や木、自然に関わるイベントを実施した。	300
荒船風穴誘客促進事業 (甘楽富岡振興局)	荒船風穴への来場者増加を図るため、同じエリアにある神津牧場と連携して荒船風穴受付で神津牧場ソフトクリーム等無料券を配付するキャンペーンを実施した。	596
吾妻地域におけるデジタル技術を用いた観光イベント (吾妻振興局)	吾妻郡内町村に各 1 箇所設置された宝箱を探し、その中のデジタルスタンプ (QR コード) を集めながら周遊できるデジタルスタンプラリーを実施した。	2,520
観光 PR イベント(夏季)事業 (利根沼田振興局)	利根沼田地域の誘客を目的として、観光キャンペーンを実施した。	78
SNS を活用した情報発信事業 (東部振興局)	関東学園大学の学生を情報収集員(太田キラリ発見 girls)に任命し、太田・邑楽館林地域の店舗やイベントの PR を実施した。	298
ぐんまちゃんラッピング列車事業 (桐生みどり振興局)	ぐんまちゃん誕生 30 周年に合わせ、わたらせ渓谷鐵道に「ぐんまちゃん」や沿線市のマスコットキャラクターをデザインした列車を運行した。	2,213

- ② 地域公共事業調整費 決算額 295,102 千円
 複数分野に関わる基盤整備、地域総合行政に資する公共事業を実施した。

・主な活用事例

事業名	事業概要	事業費
道路側溝整備 (中部振興局)	県管理道路において、道路の安全性及び駐車場利用の快適性を確保するため、道路側溝を整備した。	9,500千円
自転車休憩施設等設置 (北群馬渋川振興局)	県管理道路において、旧道敷地を活用した自転車休憩施設を整備した。	6,220
熊ノ平駐車場トイレ設置 (高崎安中振興局)	国道18号に隣接する熊ノ平駐車場にトイレを設置した。	25,036
桜山森林公園階段修繕 (多野藤岡振興局)	桜山森林公園利用者の安全を確保するため、公園内木製階段を修繕した。	5,000
道路取付舗装 (甘楽富岡振興局)	県管理道路において、道路の安全性及び駐車場利用の快適性を確保するため、駐車場出入り部の取付舗装等を行った。	2,695
舗装整備及び側溝改修 (吾妻振興局)	県管理道路において、オーバーレイによる舗装補修及び道路側溝の改修を行った。	9,990
防護柵補修 (利根沼田振興局)	県管理道路において、損傷したガードレール等を景観に配慮したガードケーブルに交換した。	6,000
排水路法面保護 (東部振興局)	排水路法面を保護することで土砂流出を防ぎ、農地の排水性を確保した。	9,999
防草シート設置 (桐生みどり振興局)	県管理道路において、利用者の安全を確保するため、動物出現の防除及び法面の防災対策を実施した。	9,097

(6) 過疎地域持続的発展支援

決算額

5,207千円

① 過疎地域いきいき集落づくり支援

過疎集落の住民が主体となって実施する集落の維持・活性化への取組を支援した。

区分	内容	事業費
過疎地域いきいき集落づくり支援事業補助	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者が運営するゲストハウスでの田舎暮らし体験ツアーを通じた移住促進 ・1～2週間程度の短期的な農業体験を通じた農業の担い手確保 ・地元産品を活用したレトルトカレー商品化 など計8件 	3,872千円

② 過疎地域オンライン体感

過疎地域における地域課題の解決や関係人口の創出につなげるため、オンライン会

議ツールを活用して地域の魅力や取組を情報提供した。

市町村	実施日	内容	参加者数
中之条町	令和5年9月7～14日	中之条ビエンナーレ2024集客広報等	143人
下仁田町	令和5年12月3日	こんにゃくづくり体験	34

(7)山村振興対策

決算額

615千円

過疎・山村地域の振興及び活性化を図るため、県・市町村間で共通認識を醸成するとともに、各市町村における今後の施策や事業への反映を目的に、市町村担当者向け講演会を実施した。

開催期日	内容	参加者
令和6年3月5日	「持続可能性」と「自治」をキーワードに、人口減少を前提とした地域の未来像等に関する講演を行った。	市町村過疎・山村振興担当課、県行政県税事務所

(8)地域おこし協力隊の活動・定住支援

決算額

2,278千円

市町村の制度導入や隊員の活動・定住を支援するため、「地域おこし協力隊情報交換会」や「スキルアップセミナー」等を開催したほか、隊員が自ら必要なスキルを身につけるために行う研修活動を支援する「アドバイザー派遣」を実施した。また、地域おこし協力隊ポータルサイト「ツナグンマ」により、隊員の募集情報や活動情報等を発信した。

・令和5年度地域おこし協力隊導入実績（令和6年3月31日時点）

区分	実績
導入市町村	25市町村（前橋市、桐生市、伊勢崎市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、中之条町、長野原町、嬭恋村、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町、玉村町、明和町）
隊員数	135人

・地域おこし協力隊活動・定住支援開催実績

区分	開催期日	開催場所	参加者数
地域おこし協力隊情報交換会	令和5年6月21日	県庁	隊員・OB OG 30人、市町村職員11人、県職員14人 計55人
地域おこし協力隊導入支援セミナー	令和5年10月3日	前橋市	隊員・OB OG 2人、市町村職員11人、県職員7人、その他1人 計21人

区 分	開催期日	開催場所	参加者数
地域おこし協力隊 スキルアップ研修会	令和 5 年 11 月 29 日	県庁	隊員・OB OG 17 人、 市町村職員 37 人、 県職員 3 人 計 57 人
地域おこし協力隊 交流研修会	令和 6 年 1 月 25 日 ～26 日	安中市	隊員・OB OG 35 人、 市町村職員 2 人、 県職員 6 人、 その他 2 人 計 45 人
アドバイザー派遣	令和 5 年 6 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 12 日 計 8 回	嬭恋村、安中市、 中之条町、藤岡市、 みどり市、南牧村、 高山村	隊員ほか延べ 69 人

(9) 地域連携強化

決算額

21,178 千円

① 地域支援員設置

4つの振興局に地域支援員（地域創生課員）を配置し、デジタル田園都市国家構想交付金について、市町村の交付申請を伴走支援したほか、市町村等による地域課題解決の取組等の支援を行った。

・デジタル田園都市国家構想交付金（市町村分）実績

区 分	実 績		
地方創生推進タイプ（市町村分）	20 市町村	52 事業	574,914 千円
地方創生拠点整備タイプ（市町村分）	2 市町	2	196,901
デジタル実装タイプ（市町村分）	19 市町村	29	764,660

・市町村等による地域課題解決の取組等の支援実績

区 分	実 績	
地域課題解決の取組等の支援	35 市町村	269 件

② 振興局が主体的に実施する事業の推進

市町村と連携し地域課題解決に向けて取り組み、地域活性化を図った。

- ・次世代型観光梅林推進事業（高崎安中振興局）
- ・利根沼田サイクルツーリズム推進事業（利根沼田振興局）

③ 群馬県未来構想フォーラム

県の近未来構想の理解促進を図るため、近未来構想や地域の課題等に関する意見交換を行った。

地域	参加者	WEB 配信視聴者	ディスカッションのテーマ
安中市	550 人	38,447 人	あんなか まちづくりビジョン 2024

(10) 土地利用対策

決算額

27,322 千円

① 土地利用基本計画等の管理運営

県土の適切かつ合理的な利用を確保するために、国土利用計画法第9条の規定による「群馬県土地利用基本計画」に基づき、土地利用の総合調整等を行った。

令和5年度は、11件の「計画図」の変更を行った。

② 届出・勧告制度の運用

県内における一定規模以上の土地取引について、国土利用計画法第23条の規定に基づいて届出を受け、利用目的を審査し、適切な土地利用の推進を図った。

<届出処理状況> 令和5年（1月1日～12月31日までの集計）

区 分	受理件数	処理件数				
		勧 告	助 言	不勧告	取下げ	計
届 出	774 件		2 件	772 件		774 件

③ 地価調査

国土利用計画法施行令第9条の規定に基づき、7月1日を基準日とする基準地の鑑定評価を公益社団法人群馬県不動産鑑定士協会に委託して実施し、宅地367地点及び林地6地点の標準価格を公表し、適正な地価情報の提供に努めた。

④ 大規模土地開発事業対策

「群馬県大規模土地開発事業の規制等に関する条例」に基づき5ha以上の民間大規模土地開発事業に対して、必要な指導を行い、県土の保全と秩序ある開発に努めた。

(11) 水資源対策

決算額

9,880 千円

① 水資源の総合調整

国土交通省の依頼に基づき、全国水需給動態調査を実施した。

② 水資源の確保対策

水資源を将来にわたり安定的に確保するため、水資源開発施設の利用調整に努めるとともに、施設の管理費を負担した。

③ 健全な水循環の啓発

利根川上流の本県と下流の東京都とで行う利根川水系上下流交流事業では、東京都と共同して水の大切さ及びダム役割を啓発するとともに、水源地域の情報発信を行った。

(12) 発電施設周辺整備

決算額

227,633 千円

発電施設周辺地域住民の福祉の向上等を図るため、電源立地地域対策交付金交付規則に基づき、対象市町村（17市町村）の公共施設運営・整備等に対し交付金を交付した。

区 分	内 容	事業数	交 付 金
道 路 関 連	舗装維持修繕等	11 件	46,583 千円
福 祉 関 連	保育所等運営	8	160,944
水 道 関 連	配水管布設替え	1	4,400

区 分	内 容	事業数	交 付 金
地 域 振 興	道路維持管理用車両購入等	5	14,483 千円
計		25	226,410

2 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費

(1) ぐんま暮らしブランド化推進

決算額

61,006 千円

東京都千代田区に開設している「ぐんま暮らし支援センター」で専任相談員が移住・就職の相談に応じるとともに、市町村と連携したオンライン移住相談会や、群馬県に関心を持つきっかけづくりとして、幅広いテーマでの移住セミナーを開催した。

また、移住希望者と地域をつなげる移住コーディネーターのほか、移住の現場できめ細かな支援を行う人材を育成するため、「地域の顔育成研修」等の実施により、移住の促進に取り組んだ。

・移住相談実績

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
相談件数	3,123 件	4,833 件	7,807 件

(注) 相談件数は、ぐんま暮らし支援センター、移住相談会、県庁等で受けた相談の合計数。

・移住相談会及び移住セミナーの開催実績

区 分	実施回数	延べ参加者数
オールぐんま移住フェア 2023 (群馬県主催の大規模相談会)	1 回	来場者 271 人 相談者 449
市町村や振興局等と連携した移住関連イベントの開催及び開催支援	41	1,151
SNS 等で発信力のある人材や企業と連携したオンライン及びハイブリッドによるセミナー	10	1,028
他県連携移住セミナー (愛媛県・栃木県それぞれとのコラボセミナー、栃木県・福島県・新潟県との 4 県合同セミナー)	3	169
大規模移住相談会への出展 (ふるさと回帰フェア、おいでや田舎暮らしフェア、JOIN フェア、新・農業人フェア、森の仕事ガイダンス、群馬の企業発見ガイダンス)	8	285

・出張移住相談会の開催実績

区 分	実施回数	延べ相談件数
県内道の駅での出張相談会 (川場田園プラザ、ららん藤岡、道の駅しもにた、道の駅玉村宿)	22 回	326 件
県内観光施設での出張相談会 (こんにやくパーク、みなかみ町 S L 広場、さくらの里、神津牧場)	16	397

区 分	実施回数	延べ相談件数
県内高速道路サービスエリアでの出張相談会（赤城SA、上里SA、太田強戸PA）	4回	159件
桐生駅SLイベントでの出張相談会（JR桐生駅）	1	60
川場村移住イベントでの出張相談会（川場村役場）	1	4
県外大学での出張相談会（千葉商科大学、神奈川大学、駒澤大学、大妻女子大学、国士舘大学）	6	24
県外観光施設での出張相談会（台東区ふるさと交流ショップ、海ほたる、浅草六区イベント広場）	3	95
県外商業施設での出張相談会（イオン浦和美園、アリオ亀有）	2	125
上野駅産直市での出張相談会（JR上野駅）	1	122

・地域の顔育成研修開催実績

区 分	会場	参加実績	主 な 内 容
市町村等移住担当者向け初任者研修	県庁	43人	全国の移住相談の動向、移住相談の心構え、ワークショップ「移住相談事例を考える」
市町村等移住担当者向けマーケティング企画スキル研修（県戦略企画課「デザイン×データLAB」との連携事業）	県庁	19	マーケティング企画スキルを学ぶワークショップ、移住促進イベントのアイデア検討・実施

(2) ぐんまでテレワーク推進プロジェクト

決算額

11,189千円

都心から100kmという恵まれた立地や豊かな自然や温泉、全国有数の農畜産物、自然災害が比較的少ないなど、本県の強みや魅力を活かし、首都圏の移住希望者や企業に向けてワーケーションの推進や「転職なき」移住促進に取り組んだ。

① テレワークサイト

群馬県移住ポータルサイト「ぐんまな日々」内にテレワークポータルサイトを設置し、県内でテレワーク可能な施設等のPRを行った。

主な掲載内容	閲覧回数
県内テレワーク施設、ワーケーションモデルコース、施設利用者の声、県内テレワーク施設マップ など	15,616回

② 法人向けワーケーション商談会

都内で、県内のワーケーション受入れ団体等とワーケーションに関心のある首都圏企業とのマッチングイベントを開催した。

③ ワーケーション実践ツアー

ワーケーション商談会の結果を踏まえ、県内11市町村（一部合同）で10回のワーケーション実践ツアーを開催した。

開催地域（訪問先市町村）	参加企業	参加人数
嬭恋村（2回）	2社	4人
中之条町	2	4
沼田市	2	4
みどり市	2	4
みなかみ町	2	4
高崎市	1	4
富岡市・安中市	1	3
桐生市	3	7
藤岡市・下仁田町	2	3

（3）群馬県移住支援金 決算額 228,699千円

東京一極集中の是正と地方の担い手不足解消のため、東京23区の在住者・在勤者が移住して就業・起業する場合や、テレワーク移住、関係人口からの移住を対象に、最大100万円を支給する事業を市町村と連携して実施した。なお、令和5年度からは、18歳未満の世帯員一人あたり加算額の上限が100万円に増額された。

区分	支給件数	支給金額
就職	2件	計 304,800千円 (うち国県補助分 228,600千円)
起業	2	
テレワーク	129	
関係人口	126	
計	259	

（4）外国人活躍推進 決算額 10,659千円

労働力不足が深刻化し、国内外で外国人材獲得の国際競争が激化する中、県内で働く外国人が活躍できる環境づくりを促進するため、多文化共創を実践するロールモデルとしてふさわしい事業者を「群馬県多文化共創カンパニー」として認証した。また、企業の外国人材の受入れを支援するため、相談会や合同企業説明会等を実施した。

区分	事業説明	実績
群馬県多文化共創カンパニー認証制度	多文化共創を実践するロールモデルとしてふさわしい事業者を認証し、その取組についてシンポジウムやSNSを通じ、国内外へ情報を発信	申請 18件 認証事業者 3社 情報発信 15本
外国人材発掘支援事業	国内在住外国人留学生を対象としたオンライン合同企業説明会を実施	参加企業 16社 参加者 57人
グローバルキャリアフェア in GUNMA	日本での就職に関心のある外国人留学生等と県内企業のマッチングの場として合同企業説明会を実施	参加企業 13社 参加者 38人

区 分	事業説明	実 績
外国人材受入れ 相談会	外国人材の雇用を検討している事業者を対象に専門家（行政書士）による相談会を開催	実施 11 回 参加企業 31 社
多文化共創担い 手育成事業	県内に住む外国ルーツの高校生のキャリア形成を支援するため、インターンシップ・活動報告会を実施	【第一期】 受入企業 3 社 参加学生 4 名 （延べ 6 名） 【第二期】 受入企業 3 社 参加学生 10 名 （延べ 15 名）

(5) 多文化共生支援

決算額 35,416 千円

外国人県民は、地域経済及び地域の活力をともに創る「仲間」であるとの考えを踏まえ、「群馬県多文化共生・共創推進条例」（令和3年4月施行）及び「群馬県多文化共生・共創推進基本計画」（令和4年4月施行）に基づき、市町村や関係機関と連携し、多文化共生・共創社会の実現に向けた取組を行った。

① 安心して暮らし続けられる環境の整備

ア 「やさしい日本語」の普及

あいまいな表現を避け、わかりやすく伝えることに重点を置いた「やさしい日本語」に対する理解を深め、普及させるため、研修会を実施した。

区 分	実 績
群馬大学医学部生向け講座	105 人
県民向け講座	21
企業団体向け講座	5 団体 77 人

イ ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター運営

生活者としての外国人県民が、生活全般に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、多言語で情報提供を行い、生活全般に関する相談のほか、法律相談にも応じる窓口を運営した。

対 応 言 語	相談件数
英語、ポルトガル語、ベトナム語、中国語、スペイン語、ネパール語	1,207 件

ウ 地域日本語教育体制整備

外国人県民が日本語を学習できる環境を充実させるため、群馬県における日本語教育の総合的な体制づくりを推進した。

区 分	実 績
総合調整会議	開催回数 3 回

区 分	実 績
日本語学習支援ボランティア養成講座	開催回数 3 回・参加者数 32 人 (桐生市・安中市・オンライン)
外国人日本語学習支援ボランティア養成講座	開催回数 11 回・参加者数 10 人 (伊勢崎市)
地域日本語教室ミーティング	開催回数 1 回・参加者数 23 人 (前橋市)
日本語学習支援スキルアップ研修	研修 2 回、講演会 1 回・参加者数 118 人
地域日本語教室巡回	巡回 3 か所 (太田市、嬭恋村、大泉町)
日本語教育実施機関・団体等への補助	補助団体数 8 団体 (県補助 1,972 千円) (前橋市・沼田市・大泉町・伊勢崎市国際交流協会・館林市国際交流協会・渋川市国際交流協会・安中市国際交流協会・甘楽町国際交流振興協会)

エ 災害時外国人支援

災害時に外国人県民に対して正確な情報提供を行うための「災害時外国人支援ボランティア」の養成及び外国人住民を対象とした「防災訓練（避難所体験等）」を市町村と連携して実施した。

区 分	参 加 者 数
災害時外国人支援ボランティア養成講座	外国人支援ボランティア 13 人
外国人住民のための防災訓練 (太田市)	外国人支援ボランティア 13 外国人住民 19

オ 医療通訳ボランティアの養成・派遣

外国人県民が医療機関等で受診する際に必要とする通訳（ボランティア）を養成し、協定医療機関等からの要請により派遣した。

区 分	実 績
養成講座参加者（うち登録者）	11 人（6 人）
医療通訳ボランティア登録者	14 言語・延べ 108 人
医療通訳ボランティアの派遣	201 件

② 誰一人取り残さない「多文化共生・共創社会」の実現に向けた取組

ア 多文化共生推進協議会への参画・連携

外国人住民が多い 7 県 1 市（群馬県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、名古屋市）で構成する「多文化共生推進協議会」に参画し、関係省庁への政策提言を実施した。

イ 多文化共生・共創推進月間（10 月）

県民全体で多文化共生・共創社会実現への取組を進めるため、メッセージ性のある啓発動画を活用し、県庁舎デジタルサイネージや映画上映前の広告を通して、集中的に情報発信した。また、幼少期から多文化に触れ、交流を通して多様性を理解する機会を提供するため、官民共創イベント「からっかぜパーク」を開催し、「多文化共生・共創」の機運を醸成した。

3 文化振興費

(1)文化づくり推進

決算額

43,026 千円

- ① 多様な文化芸術活動や地域の伝統文化継承活動等を推進するために設置している群馬県文化振興基金を活用し、個性豊かな地域づくりにつながる県民の自主的・主体的な文化活動を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
文化づくり支援	・「ぐんまスタイル」の創造につながる多様で創造性豊かな文化活動(10件)や事業に対して支援	千円 7,022

- ② 群馬県の文化的風土の象徴である「上毛かるた」を活用し、県民の郷土愛や群馬の歴史や文化に対する誇りを育むため、上毛かるた及び関連書籍の発行・販売を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
上毛かるた活用	・上毛かるた発行 13,000 部、販売 10,163 部 ・副読本「『上毛かるた』で見つける群馬のすがた」発行 6,000 部 ・ガイドマップ「『上毛かるた』ゆかりの地 文化めぐり」、英語版上毛かるたの販売の継続 ・上毛かるたの利用許諾 113 件	千円 13,542

- ③ 「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、関係機関と連携しながら国内における機運醸成を図るとともに、知事の会の参画道県と連携し、国内候補選定に向けた要望活動等を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録推進	・「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産登録を応援する知事の会の運営(令和5年度末時点で36道県が参画)及び参画道県と連携した実態調査の実施 ・温泉文化フォーラムに、ユネスコ無形文化遺産に登録されているフィンランドのサウナ文化関係者を招へいし、先進事例を研究 ・温泉文化フォーラムによる温泉文化の価値や魅力の発信	千円 6,270

(2) 埴輪王国ぐんまの推進

決算額

52,647 千円

本県出土の埴輪が質・量ともに日本一であるという点に着目し、「埴輪王国ぐんま」の魅力を発信・定着させ、観光・地域振興や本県のイメージアップを図るため、周知事業を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
埴輪、古墳の価値や魅力の発信	・ 本県の歴史文化遺産の価値を再認識してもらうとともに、イメージアップを図るため、埴輪や古墳などの魅力を発信する動画制作やイベントを実施	千円 361
東国文化副読本の活用	・ デジタル版副読本を改訂 ・ 自由研究の募集等により学校現場や家庭における副読本の活用を推進	797
群馬県立歴史博物館イノベーション文化観光拠点計画	・ 文化観光推進法に基づき、令和2年8月に国が計画認定 ・ 最新のデジタル技術を駆使し、常設展示室の整備及び展示の多言語化を実施 ・ 榛名山噴火関連遺跡に関するデジタルコンテンツを制作し、古代展示室に設置 ・ 今後の展示整備に向け「宇津野・有瀬遺跡」の地中レーダー探査を実施 ・ 歴史博物館を拠点に地域の文化資源等を周遊する文化観光を促進	47,335
「世界の記憶」上野三碑周知	・ 上野三碑普及推進会議を通じて、上野三碑の価値や魅力を広く県民に知ってもらうための周知活動を実施	500

(3)文化施設整備推進

決算額

181,308千円

- ① 経年劣化に伴う補修・修繕が必要となった文化振興課所管の施設・機器等について、優先度に応じて計画的に修繕を行った。

区 分	事業内容	事業費
修 繕 料	県民会館館内施設機器等修繕 近代美術館展示室防火シャッター修繕 館林美術館防犯監視システム更新 自然史博物館監視カメラ更新 土屋文明記念文学館展示ケース照明 LED 化	24,609千円
工 事 費	館林美術館展示照明 LED 化工事 土屋文明記念文学館展示照明 LED 化工事	68,652

- ② 県立文化施設の収蔵品をデジタルアーカイブ化し、「群馬デジタルミュージアム」としてGメッセ群馬・昭和庁舎での展示に活用した。

会 場	実施期間	内 容	観覧者数	事業費
Gメッセ 群馬	令和6年1月20日 ～21日	Gメッセ群馬西側のスクリーンに、県立文化施設のデジタルアーカイブ化した収蔵品を基に作成した映像を上映	人 828	千円 63,365
昭和庁舎	令和6年2月1日 ～3月1日	実寸大の恐竜標本を体感できるMR展示や、数々の絵画を立体的に投影した展示、古文書を読み解く展示を実施	2,814	

(4) 県立文化施設管理

決算額 100,747千円

文化振興課所管の一部県立文化施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう指定管理者による管理運営を行った。

区 分	指定管理者	事業費用協定額	利用件数	利用者数
群馬県民会館 (ベイシア文化ホール)	(公財)前橋市 まちづくり公社	千円/年 79,117	件 223	人 112,519
群馬県立自然史 博物館附帯ホール (かぶら文化ホール)	富岡市	21,259	121	27,722

(5) 文化団体等育成

決算額 24,073千円

教育・芸術文化団体を支援することで、県民の豊かな情操と教養のかん養及び文化団体の育成と地域に根ざした自主的な文化活動の振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
芸術文化関係 団体助成	県民が様々な芸術文化活動に触れる機会を提供するため、芸術文化団体を支援	千円 24,073

(6) 芸術文化事業推進

決算額 319,397千円

- ① (公財)群馬交響楽団を支援することにより、県民が本物の芸術文化に触れる機会や子どもたちが生のオーケストラ演奏に触れる機会を提供し、本県文化の向上と普及・振興を図った。

区 分	事 業 内 容	入場者等	事業費
群馬交響楽団 支 援	定期・特別演奏会、音楽教室、楽器セミナー等を実施している群馬交響楽団の運営費等の経費の一部を支援	人 135,592	千円 285,981

- ② 「群馬パーセントフォーアート」推進条例に基づき、アートの力で群馬県を元気にし、県民が誇りと幸福感を感じられる群馬の創造のため、群馬ならではの芸術活動「アーティストティック GUNMA」を推進するための事業を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
アーティストティック GUNMA	アーティストが地域で制作活動やワークショップを行う「AIRアートプロジェクト」や県庁舎で作品を展示する「県庁舎アートデザインプロジェクト」等を実施し、アーティスト支援、地域振興、アート教育等を推進	千円 12,216

(7)教育文化事業団運営

決算額

165,369千円

- ① 文化振興事業等を実施している(公財)群馬県教育文化事業団の運営費を助成した。
- ② 県民の文化芸術への創造的活動を助長し、地域の特色ある多様な文化芸術を充実・発展させることにより、個性豊かで創造性に富むぐんまの文化の振興を図るため、県民芸術祭を同事業団に委託して実施した。

・県民芸術祭概要

区 分	事 業 内 容	入場者数	事業費
県 文 学 賞	短歌、俳句、詩、随筆の4部門を選奨(小説、評論、児童文学は該当なし)	人 71	千円 1,977
県 展	美術展、書道展、写真展、華道展、大茶会を開催	19,765	2,766
山 崎 種 二 記 念 特 別 賞	県展出品作品から山崎種二記念特別賞(美術、書道、写真部門各1点)を授与		1,226
県民音楽のひろば	県内の各文化施設(7会場)で群馬交響楽団による演奏会を開催	3,925	17,534
群 響 企 画 コ ン サ ー ト	森とオーケストラ(群馬の森)を開催	3,114	5,714
グリーンコンサート	新人演奏会出演者によるクラシック音楽に気軽に触れられる演奏会を開催	200	165
子どもワークショップ 「はじめての文化・芸術ふれあい教室」vol.8	子どもたちを対象に美術(紙版画)、華道、書道、写真、人形芝居、オーケストラ楽器の楽しさを体験し、鑑賞する機会を提供	177	1,030

区 分	事 業 内 容	入場者数	事業費
メディア芸術推進	マンガ・アニメフェスタ（優れた作品の公募・顕彰・展示とイベント）を開催	人 10,676	千円 9,878
群馬県文化協会連 合会 地域文化フェステ ィバル	群馬県文化協会連合会 10 地域圏のうち、渋川北群馬、東毛地域圏で地域文化フェスティバルを開催	7,848	425
企画運営	運営委員会開催、広報実施及び報告書を作成		594
計		45,776	41,309

③ 失われつつある地域の伝統文化を次世代に継承している意欲ある団体を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
伝 統 文 化 継 承	・各地域に伝わる伝統芸能や祭り、行事等を継承する活動（21件）を支援 ・継承のための講習会等の開催や活動団体間の連携推進を図るデータベースを整備	千円 8,650

④ 優れた文化芸術活動を行うアマチュア文化団体を学校等へ派遣し、子ども向けの講演やワークショップ等を開催した。

区 分	事 業 内 容	事業費
はじめての文化体験	派遣団体：伊勢崎マジシャンクラブ等 12 団体 派遣先：安中市市原学童クラブ等 31 か所	千円 948

(8) 県立美術館・博物館運営

決算額 1,035,879 千円

県立美術館・博物館において、県民に優れた芸術・文化等の鑑賞の機会を提供するため、各種企画展を開催するとともに、ワークショップや体験学習等の教育普及事業を一層充実させるなど、魅力ある美術館・博物館の運営に取り組んだ。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
近代美術館	・観覧者数 44,870 人 ・教育普及事業参加者 9,121 人 ・企画展「ディーン・ボーエン展」など全 3 回開催 ・「こども＋おとな＋夏の美術館」「美術館アートまつり」等を開催	千円 213,969

区 分	事 業 内 容	事 業 費
館 林 美 術 館	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 58,177 人 ・教育普及事業参加者 5,682 人 ・企画展「佐藤健寿展 奇界／世界」など全4回開催 ・学校との連携事業（職場体験、学校訪問、美術館見学）を実施 ・「みんなのアトリエ」「たてび☆キッズウォーク」等の開催 	千円 180,289
歴 史 博 物 館	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 47,168 人 ・教育普及事業参加者 40,873 人 ・企画展「れきはく生き物大集合」など全4回開催 ・学校団体向け学習プログラム、ワークショップ等を実施 	185,878
自 然 史 博 物 館	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 291,128 人 ・教育普及事業参加者 46,914 人 ・企画展「ポケモン化石博物館」など全4回開催 ・サイエンスサタデー（体験学習）を開催 ・学校との連携事業（館内授業、職場体験）を実施 	393,718
土屋文明記念 文 学 館	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 10,447 人 ・教育普及事業参加者 26,328 人 ・企画展「あんびるやすこ作品展」など全4回開催 ・「短歌教室 歌人が学校に！」 ・講演会、講座等を開催 	62,025

(9) 世界遺産継承推進

決算額

125,682 千円

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を将来の世代に確実に引き継ぐとともに、世界遺産をはじめとする絹遺産の価値を多くの人に伝えることで、地域全体の遺産と絹文化を守り、それらを活用した地域づくり推進につながるよう、各種事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少した世界遺産の4つの構成遺産への来訪者数は、令和5年度は約39万人に回復した。

区 分	事 業 内 容
世 界 遺 産 継 承 推 進	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産専門委員会開催 ・世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金 企業等からの寄附金を積立て、世界遺産・ぐんま絹遺産の継承に活用（令和5年度積立額 14,381 千円）
世 界 遺 産 保 存 整 備	<ul style="list-style-type: none"> ・4市町が行う世界遺産構成資産の保存修理に対し補助 (91,130 千円のうち令和4年度から令和5年度への繰越分 56,869 千円)

区 分	事 業 内 容
日本遺産・ぐんま絹遺産推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐんま絹遺産登録（令和5年度累計 106件） ・ぐんま絹遺産保存活用推進（5市町村・2団体 3,682千円） 市町村及び民間団体が行うぐんま絹遺産の普及啓発や保存修理に係る事業に対して補助 ・シルクカントリー群馬プロジェクト 世界遺産等の調査研究に携わる人材の育成を目的とした研究助成事業「絹ラボ」を関係市町や民間企業とともに実施し、世界遺産や絹産業・絹文化などをテーマにした調査研究に対して、研究助成金を交付（助成件数：7件） ・日本遺産推進 来訪者WEBアンケート（回答者数：410人）、「日本遺産フェスタ@赤岩ふれあい感謝祭」（来場者数：450人）を実施
富岡製糸場を中核とした文化観光拠点計画	<ul style="list-style-type: none"> ・文化観光推進法に基づき、富岡市と共同で申請し、令和5年1月に国が計画認定 ・富岡製糸場の魅力や価値の磨き上げ等を通じて、3資産や県内シルク関連遺産、温泉地などの観光地への周遊促進（6,094千円） 国宝「西置繭所」企画展（会期：12/15～1/11、入場者数12,418人）と富岡製糸場以外の3資産の動画制作

(10) 世界遺産センター運営

決算額

36,065千円

世界遺産のガイダンス施設として構成4資産の価値や魅力を来館者に分かりやすく紹介するとともに、大学や民間と連携して世界遺産や絹産業、絹文化の研究に取り組み、講演会や研究紀要などを通じて総合的に情報発信した。

事 業 内 容	事 業 費
・観覧者数 30,999人	千円
・教育普及事業参加者 2,749人	36,065
・トピックス展示「風穴ってなあに？」など全4回開催	
・養蚕や絹に関する資料を検索できるアーカイブの運用を開始	
・講演会・研究会等を開催	

4 文化財保護費

(1) 文化財保存管理

決算額

87,379千円

文化財の保護と活用を図るため、指定文化財の保存修理・設計監理・計画策定等や埋蔵文化財の発掘調査に対する事業費補助及び文化財パトロール等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
文化財保存事業費補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県指定文化財 13 件 ・ 埋蔵文化財発掘調査等 10 件 ・ 国指定文化財 19 件 ・ 防災設備保守点検等 8 件 	千円 83,456
文化財パトロール	文化財保護指導員 31 人（文化財の傷み具合や管理状況に係る報告：276 件）	1,986
高山蝶パトロール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嬭恋村（ミヤマシロチョウほか）：11 人 ・ 渋川市（ヒメギフチョウ）：15 人 	70
県指定文化財（建造物・民俗）管理	県指定文化財の保存・管理・活用状況の実態調査：建造物 33 件、民俗 21 件	260

(2)埋蔵文化財保護対策

決算額

6,113 千円

公共開発事業等が予定されている埋蔵文化財包蔵地について、事前に保護策策定のための試掘調査等を実施するとともに、県内の文化財情報を整備した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
公共開発関連埋蔵文化財緊急調査	国や県が行う道路建設などの事業地において埋蔵文化財の試掘調査を実施して発掘調査の必要性を判断した(52 件中 20 件で発掘調査が必要)。	千円 5,820
統合型GIS更新	統合型GISシステム(マッピングぐんま)において、遺跡・指定等文化財の情報を公開し、年 2 回、最新情報に更新した。(50 件)	293

(3)埋蔵文化財調査センター運営

決算額

47,011 千円

(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に委託して考古資料等の保存と活用を行う埋蔵文化財調査センターを適正に管理運営するとともに、埋蔵文化財についての理解を深めるための普及事業を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
埋蔵文化財調査センター管理運営	施設の維持管理を適切に行った。	千円 15,698
埋蔵文化財調査センター展示普及	<p>各種普及啓発事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発掘情報館来場者数 6,019 人 ・ 最新情報展参加者数 3,722 ・ 最新情報展関連講演会参加者 149 ・ 埋蔵文化財専門講座受講者数 37 ・ 夏休み親子宿題教室参加者 796 	25,093

区 分	事 業 内 容	事 業 費
金井遺跡群出土品調査整理	金井東裏遺跡・金井下新田遺跡出土品の価値の把握のための調査整理を実施した。	千円 3,265
出土品の3D計測アーカイブ	普段見ることのできない遺物の底部や内部等の3D映像をインターネット上で公開するための計測を行った。(弥生土器30点)	2,955

(4) 偲ぶ毛の国群馬の魅力発掘・発信

決算額

14,315 千円

国指定文化財の保存管理と活用事業に対する補助、国指定史跡である観音山古墳と上野国分寺跡の管理・運営、「群馬県近世寺社総合調査」の成果等の発信を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
観音山古墳保護管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地内除草等の維持管理業務委託 ・駐車場賃借 ・解説員4人で見学者への説明に対応した。 	千円 4,565
上野国分寺跡保護管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地内除草等の維持管理業務委託 ・見学者のためのガイダンス施設運営。解説員3人で入館者への説明に対応した。 ・社会科見学や総合学習等での学校利用促進のため、史跡上野国分寺跡・史跡観音山古墳の見学案内チラシを作成し、学校及び学校教育関係会議で配布。 	9,016
ぐんまの寺社魅力発掘・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ用アプリ「ぐんま寺社めぐり」の機能追加と調査成果を踏まえた情報の更新(1件) ・アプリの保守管理(年度末の累計DL数3,997件) 	734

5 スポーツ振興費

(1) スポーツ団体運営費助成

決算額

105,847 千円

本県のスポーツ振興のための各種事業活動が円滑に行われるよう、スポーツ振興施策を県と一体となって推進している(公財)群馬県スポーツ協会の運営に係る人件費を補助し、体制の整備を行った。

(2) 生涯スポーツ振興

決算額

9,925 千円

県民が身近な場所で継続的にスポーツに親しむことができるよう、市町村や(公財)群馬県スポーツ協会と連携してスポーツ団体の活動の支援を行うとともに、地道な活動により地域のスポーツ振興に功績のあった個人や団体を表彰した。

また、本県が有する優れた自然環境を活かした県境稜線トレイルの活用を促進するとともに、危険箇所の点検や草刈りなどの安全対策を実施した。

(3) スポーツイベント等の開催・支援

決算額

34,573 千円

① ぐんまマラソン

新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられたことから、一斉スタートの実施など、提供可能なサービスを再開させるとともに、感染症対策経費に相当する参加料値下げを行った。また、出走権付き宿泊プランやふるさと納税制度の活用など、新たな充実策により県内外から多くの参加者を迎えられ、参加者の健康増進を図るとともに、本県の魅力を発信する機会となった。

種 目	開催年月日	申込人数
フルマラソン	令和5年11月3日	5,949人
10kmマラソン		4,306
リバーサイドジョギング		4,471
合 計		14,726

② 群馬県民スポーツ大会

広く県民の間にスポーツを普及振興するとともに、健康の保持増進、体力の向上及び生活の活性化を図るため、例年県民スポーツ大会を実施している。令和5年度は、夏季大会と秋季大会、冬季大会（スケート・スキー）を開催した。

(4) 全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝） 決算額 7,673千円

新春の一大スポーツイベントであるニューイヤー駅伝を、主催者の日本実業団陸上競技連合、大会主管の群馬陸上競技協会等の関係機関と連携して実施した。

また、tsulunosの活用（メインスタジオ）や、視聴者プレゼント（県内宿泊券）の実施により、本県のPRを行い、イメージアップを推進した。

(5) プロスポーツ支援 決算額 3,898千円

- ① より多くの県民が地域で活動するスポーツチームへの理解と関心を深められるよう、群馬県庁のNETSUGENにおいて、県内を拠点として活動するスポーツチームの公式戦を放映するパブリックビューイングを開催した。

パブリックビューイング実施チーム	開催日	対戦チーム
ザスパクサツ群馬（サッカー）	令和5年6月3日	金沢
	令和6年3月20日	横浜
群馬クレインサンダーズ（バスケットボール）	令和5年5月7日	仙台

- ② 県内を拠点として活動するスポーツチームと県民及びチーム同士が交流することを目的とした「ぐんまスポーツフェスタ」を開催した。

開催日	会場	実施内容
令和5年8月12日	正田醤油スタジアム群馬	県内のスポーツチームによるスポーツ体験や選手のトークショー

- ③ 県内の小・中学校等に、プロスポーツチームに所属する選手・コーチ等を講師として派遣し、実技指導や自身の体験・思い等を伝える事業を県内に拠点を置くプロスポーツチームに委託して実施した。

委託先チーム	参加数（実施回数）
ザスパクサツ群馬（サッカー）	180人（3回）

委託先チーム	参加数（実施回数）
群馬ダイヤモンドペガサス（野球）	212 人（3 回）
群馬クレインサンダーズ（バスケットボール）	119 （2 ）
群馬銀行グリーンウイングス（バレーボール）	197 （3 ）
ビックカメラ高崎ビークイーン（ソフトボール）	96 （2 ）
太陽誘電ソルフィーク（ソフトボール）	284 （6 ）

（6）競技力向上

決算額 225,757 千円

- ① 本県のスポーツ振興の基本計画である「群馬県スポーツ推進計画」に基づき、競技力の向上を図るために、（公財）群馬県スポーツ協会、41 競技団体、学校体育団体が実施する競技力向上対策事業に対し補助を行い、国民体育大会やその他全国大会、国際大会において活躍できる競技者の育成を推進した。

・競技力向上対策事業補助

事業内容	事業費
スポーツ協会 1 団体	178,732 千円
競技団体対策 41	
高体連 31	
中体連 17	

・国民体育大会成績

開催年	回数（大会開催県）	男女総合順位
令和 4 年	77 回冬季（栃木・秋田）	（12 位）
	77 回本体会（栃木）	22 位
令和 5 年	特別国体冬季（青森・岩手）	（5 位）
	特別国体（鹿児島）	26 位
令和 6 年	78 回冬季（北海道・山形）	（8 位）

- ② 令和 3 年度より開始した小学 3 年生向けの運動能力向上プログラム「ぐんまプレキッズ」事業について、会場を 3 箇所（前橋・太田・沼田）から 4 箇所に拡充（前橋・高崎・太田・沼田）して実施した。

事業内容	事業費
プレキッズ事業参加者	7,497 千円
前橋会場 51 人	
前橋会場（4 年生） 54	
高崎会場 50	
太田会場 50	
沼田会場 25	

- ③ スポーツの振興と郷土意識の高揚に資することを目的として、世界選手権、全国大会等で顕著な成績を残した競技者に対し、群馬県スポーツ賞を贈った。

事業内容	事業費
令和5年度受賞者数 ○スポーツ栄誉賞 4人 ○優秀選手賞 147	982千円

- ④ トップアスリートを雇用したい企業と、県内企業に就職したいアスリートのマッチングを図り、競技力の向上と指導者層の確保を図った。

事業内容	事業費
アスリート・ジョブサポートぐんまの設置 登録企業数 20社（令和5年度登録分：4社） 登録選手 3人 マッチング数 2人	31千円

- ⑤ 様々な医科学データを効率的に計測・分析し、科学的なデータに基づいた指導・練習を可能とするため、医科学データ計測機器を導入するとともに、群馬県総合スポーツセンターの体力測定室をワンフロア化した。

事業内容	件数	事業費
総合スポーツセンター体力測定室備品購入	2件	17,917千円
総合スポーツセンター改修工事	1	14,619

(7) 国体等参加推進

決算額

87,907千円

- ① 国民体育大会への派遣

本県の代表として国民体育大会やその予選となる関東ブロック大会に参加した監督、選手に対して派遣費を補助し、本県代表選手の活躍を支援した。

区分	事業内容	派遣人数
関東ブロック大会	特別国体関東ブロック大会 埼玉県 令和5年6月3日～12月17日・32競技	733人
国民体育大会	特別国民体育大会本体会 鹿児島県	386人
	特別国民体育大会冬季大会 北海道（スケート）	52
	岩手県（スキー）	41

- ② 第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会（湯けむり国スポ・全スポぐんま）開催準備

令和11年に本県で開催する湯けむり国スポ・全スポぐんまに向けて、市町村や競技団体と会場地市町村の選定のための調整を行った。

また、「第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会」において常任委員会及び各種専門委員会を開催し、会場地市町村及び総合開・閉会式会場地の選定、大会の愛称のロゴデザイン、広報ポスターデザインを決定するとともに、広報ポスターを県内各関係機関に配布した。

(8) 大会基金積立

決算額

1,005,028千円

湯けむり国スポ・全スポぐんまの財源に充てるため、基金の積立てを行った（令和

5年度末基金現在高 3,009,525 千円)。

(9) 障害者スポーツ推進

決算額

45,690 千円

① 障害者スポーツ普及推進

特別支援学校の児童生徒を対象に、国際大会で活躍するアスリート等との交流・体験事業を実施した。

また、障害者スポーツコーディネーターを配置し相談・情報提供を充実させたほか、障害者スポーツに関するホームページを作成するなどして障害者スポーツの普及推進を図った。

区 分	事業量	参加者数	事業費
トップアスリート交流	7 か所	353 人	400 千円

② 障害者スポーツ競技力向上

ぐんまパラアスリート支援ワンストップセンターをスポーツ振興課に開設し、パラアスリートが抱える課題を解決して競技に専念できる環境づくりを支援した。また、ぐんまパラアスリート始動プロジェクトとして、活動費補助を拡充した。

さらに、令和 11 年の湯けむり全スポぐんまに向けて選手を育成するため、特別支援学校の生徒等を対象とした体験会や練習会を実施した。

区 分	事業量	事業費
ぐんまパラアスリート支援ワンストップセンター	相談 15 件 満足度 87.5%	
ぐんまパラアスリート始動プロジェクト補助金	22 人	6,200 千円
競技団体活動経費補助	7 団体	350
全スポ選手等育成強化	40 回/1,349 人	3,191

③ 県障害者スポーツ大会運営委託

スポーツ大会を通じて障害者の社会参加を促進するとともに、学生・ボランティアなどに運営協力を求めるなど、参加者の相互理解の促進を図ることを目的として、県障害者スポーツ大会を開催した。

区 分	実施競技	参加者数	事業費
県障害者スポーツ大会運営委託	12 競技	1,069 人	7,184 千円

④ 全国障害者スポーツ大会への派遣

全国障害者スポーツ大会（個人競技）や関東ブロック地区予選会（団体競技）に群馬県選手団を派遣した。

区 分	事業内容	派遣数
関東ブロック地区予選会	特別全国障害者スポーツ大会燃ゆる感動かごしま 大会関東ブロック地区予選会 関東各地（東京都、神奈川県、埼玉県、群馬県） 令和 5 年 5 月 5 日～6 月 11 日	団体競技 5 競技

区 分	事業内容	派遣数
全国障害者スポーツ大会	特別全国障害者スポーツ大会燃ゆる感動かごしま大会 鹿児島県 令和5年10月26日～10月31日・7競技	個人競技 7競技 58人

(10) 国民スポーツ大会冬季大会 決算額 2,540千円

① 第79回国民スポーツ大会冬季大会開催準備

「第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会（スピード）群馬県実行委員会」を設立し、大会の会期や愛称、公式ポスターを決定するなど、大会開催準備と広報活動を実施した。

② 第79回国民スポーツ大会冬季大会施設整備

大会開催に向けて、伊香保リンク管理棟トイレ修繕工事を実施した。

(11) スポーツ施設の管理・整備 決算額 983,409千円

① スポーツ振興課所管の次の施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう、指定管理者による管理運営を行った。

区 分	指定管理者	管理費用	利用人数	使用料収入
ALSOK ぐんま総合スポーツセンター	(公財)群馬県スポーツ協会	231,000千円	802,460人	62,473千円 (利用料金制)
高崎健康福祉大学伊香保リンク	(公財)群馬県スポーツ協会	130,091	50,300	15,763
ライフル射撃場	群馬県ライフル射撃協会	2,850	677	374
ふれあいスポーツプラザ	(社福)群馬県社会福祉事業団及び群馬県ビルメンテナンス協同組合の共同体	131,672	54,345	2,984
ゆうあいピック記念温水プール	(社福)群馬県社会福祉事業団	70,280	30,926	2,587

② スポーツ振興課所管施設において、経年劣化に伴う補修・修繕が必要となった施設・設備等について、その優先度に応じて計画的に修繕等を行った。

区 分	事業内容	事業費
工 事 費	・伊香保リンク冷凍機コンデンサ交換工事 ・LED照明化工事（ALSOK ぐんまアリーナ、ALSOK ぐんま武道館、ALSOK アイスアリーナ、伊香保リンク屋内リンク） ・ゆうあいピック記念温水プールボイラー更新工事	324,297千円

区 分	事業内容	事業費
備 品 費	・ ALSOK ぐんまアリーナ バスケットゴール	12,100 千円
計		336,397

- ③ 敷島水泳場建替工事期間中、水泳競技の代替施設を確保するため、県立学校施設の改修工事を行った。

区 分	事業内容	事業費
委 託 料	前橋商業高校水球場膜屋根復旧工事（設計）	1,617 千円
工 事 費	前橋商業高校水球場膜屋根復旧工事	73,513
計		75,130